

つるだ新ごぼう

出荷量150トン目指し播種



豊作を願って播種が行われました

新ごぼうの播種が、9月20日（金）始まりました。播種は、小路下手の水田を中心に播種マルチ同時作業機で、約1.5haの播種が行われました。当日は、「実際自分で植付けを体験して、市場での取引に役立てたい。」と、福岡市の大同青果の職員も参加して行われました。

また、役員会も行われ、市場側より各産地の取り組み状況や播種計画、種子管理などについて説明がありました。

今年は、昨年よりも会員が1人増え、26人で約13ha、出荷量150トンを目指し11月上旬まで播種が行われます。

鶴田小学校

交通安全を学びました

ひまわり号の交通安全教室が、9月11日（水）鶴田小学校で行われました。初めに警察署の職員により国、県内の交通事故の発生件数や、発生した時の状況等の話があり、その後、実際に人形を使つての衝突実験が行われました。時速40kmの衝突実験では、約10m飛ばされている様子を見て、子供たちも事故の恐ろしさを実感していました。

また、自転車の乗り方の指導も行われ、正しい乗り方を学びました。最後に児童の代表が「今まで間違つた乗り方をしていました。今日教えていただいたことを活かして、交通ルールを守り正しい乗り方をしたいです。」とお礼の言葉を述べました。



衝突実験の様子を真剣に見ていました

上之園ナツさん

100歳を祝う



100歳のお祝をしました

新田の上之園ナツさんが、9月27日（金）100歳を迎えられました。上之園さんは鶴田中央病院のグループホームに入所されており、歌を歌うのがたいへん好きで、町から記念品を贈呈された際も、上手な歌声を披露されていました。健康の秘訣は、農作業で体を鍛えてきたことと、マイペースでくよくよしないことだと話されました。

本町の100歳以上は、鶴宮園の岡村カワさん、児玉ハルさんに次いで3人目となりました。

鶴田中学校職場体験学習

仕事って大変だな



上手に食べさせることができました

鶴田中学校の職場体験学習が、9月5日（木）、6日（金）実施されました。これは、生徒が将来の設計を立てる一環として、生徒一人ひとりがこの体験を通して、働くことの厳しさ・必要性・喜びなどを感じながら、将来の「生き方」について考えることを目的に、22の事業所で体験をしました。

鶴田保育所では、子供の食事の世話など保育士の仕事を体験しました。実際に体験した生徒は、「将来この仕事をしてみたくて、保育所を選びました。思っていたよりハードな仕事で、小さい子供のパワーにびっくりしました。」と感想を話していました。

神子区の大野宏さん

史跡・伝説の看板を設置

神子区の大野宏さんが、このほど神子区の史跡・伝説をまとめた看板を作られました。これは、大野さんが4年文化財保護委員として郷土史の研究を始めてから学んだり、掘り起こした史跡・伝説を後世に残したいと、「合志郷由来の碑」の移転費用で作られたものです。

この看板は、大野さん宅近くの川内川を見渡せる堤防沿いに建てられており、「分かりやすく説明をしますのでぜひ見に来て下さい。」と話されました。



設置された看板と大野宏さん

紫尾小学校

高齢者とグラウンドゴルフを楽しむ



グラウンドゴルフを楽しむ参加者

紫尾小学校児童と紫尾地区の高齢者との交流会が、9月14日（土）紫尾小学校校庭で行われました。これは、学校週5日制が始まり、高齢者の方々が子供たちと何か交流ができないかと計画されたものです。

当日は、高齢者18人、児童25人が参加し、グラウンドゴルフを行いました。参加した児童は、ほとんどがはじめてで、高齢者の方々にスティックの握り方や打ち方など指導を受けながら、競技をしていました。参加した児童も高齢者の方々もとても楽しそうに競技をされていました。